



新居浜にお手玉ファン 2000人が集う 講演会・シンポジウム・競技大会など盛大に



第17回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会

第17回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会は、日本のお手玉の会の設立20周年、新居浜市市制施行75周年の記念事業として、平成24年9月29日(土)、30日(日)に、リーガロイヤルホテル新居浜で開催されました。

1日目は、特別記念講演会「ゲーム脳はお手玉で改善できる」と、シンポジウム「子どもの脳の発育と創造性の開発と『お手玉』」に300人、交流会には170人が参加しました。

2日目は、最初に記念の式典を行い、長年お手玉遊びの普及に功績のあった4人に、日本のお手玉の会会長と新居浜市長の連名で「功労賞」が贈られました。投げ玉遊びの競技大会は、小学生の部と一般の部に分かれて、団体戦と個人戦が行われ、北は福島県、南は沖縄県までの22都府県から延べ700人が参加しました。

競技大会では、各種目の1位から3位までの入賞者のほかに、新居浜市から3つの「特別賞」が、2団体と1個人に贈られました。

団体戦では、一般の部で、和歌山お手玉の会が優勝し、小学生の部では新居浜の神郷お手玉ちびっ子クラブが勝利を獲得しました。

この大会には、観衆を含めると2日間で延べ2000人のお手玉ファンが参加し、盛大な大会となりました。

また、新居浜市の職員のみなさんをはじめ、多くの市内ボランティア団体のご協力をいただき、140人の実行委員が運営に当たり、スムーズな大会の進行に大きな力を発揮していただきました。

～とどけよう！お手玉のぬくもり～をテーマに 「まりと殿様」の街でお手玉の技を競う



お手玉遊び近畿ブロック 和歌山大会

近畿ブロック大会が、「とどけよう！お手玉のぬくもり」をテーマに、11月10日(土)、11日(日)に、和歌山市で開催されました。

1日目の交流会は、県民交流プラザ和歌山ピッグ愛で行われました。各支部から70人が参加し、それぞれ、得意の出し物を披露しあい、交流を深めました。

2日目の競技大会は、県勤労福祉会館プラザホープで行われ、団体戦(一般32チーム、小学生2チーム)と個人戦に、延べ300人が参加しました。また、演舞大会も行われ、6支部から5チームが参加して「まりと殿様」など、趣向を凝らした演出に、会場から大きな拍手が送られました。

また、オープニングでは、和歌山支部の会員による、南京玉すだれや腹話術で大会を祝い、アトラクションでは、けん玉世界チャンピオンの妙技が披露され、会場の雰囲気盛り上げました。

団体戦と演舞大会の成績は、次のとおりです。

【一般の部】優勝・・・やぶA、準優勝・・・やぶB、敢闘賞・・・神戸お手玉の会A、敗者復活優勝・・・バンビチーム(奈良)【小学生の部】優勝・・・西脇(和歌山)、準優勝・・・ファイヤードラゴン(同)

【演舞大会】優勝・・・和歌山のお手玉の会